

学校教育目標	◎ 自分がすき 友だちがすき まちがすき 進んで学ぶ 山田の子 知 自ら学び、よく考え、よりよく解決する子を育みます。 徳 自分やまわりをみつめ、心豊かに生活できる子を育みます。 体 心と体を鍛え、心身共に健全な子を育みます。 公 「ひと」「まち」とのふれあいを大切に、共に生きる子を育みます。 開 社会の変化に関心を持ち、未来をみつめる子を育みます。					
	学校概要	創立 50 周年	学校長 金森 孝子	副校長 間杉 誠	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 2
児童生徒数: 489 人		主な関係校: 東山田中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自ら考え行動し課題を解決する力 交流し協働できる力(友だちや地域)	東山田中学校 山田小学校 北山田小学校 東山田小学校	自分を高め、互いを認め合い、人とつながる児童・生徒を育みます ・中学校ブロック4校の教職員の共通理解のもと、児童一人ひとりの存在をしっかりとみつめ、よさや違いを認め合い、学校内外の人とのかかわりを大切にした教育活動に取り組みます。

中期取組目標	○学校教育目標を実現するため、笑顔にあふれ充実感のある学校づくりをめざします。 ・児童一人ひとりが、自己目標の達成を実感できる授業づくりを推進し、学力の向上を図ります。 ・児童一人ひとりが、山田小学校の一員であることを自覚できるように望ましい集団生活を営んでいきます。 ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域・関係機関と連携し、信頼・協力のある学校づくりを進めていきます。 ・教職員が一丸となって連携しながら個々の力を発揮し、組織を活性化した学校運営に取り組んでいきます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく 知	①主体的・対話的に学習が行えるよう授業をデザインし、学び合うことで課題を解決していけるようにしていく。②ICT機器を効果的に使用し、児童の学びの一助としていく。③自分の思いをもつための時間を保障し、示す、話す・聞く、書く、描くなどの表現活動を大切にしていく。
豊かな心	①道徳の授業の公開を行う。②授業での主体的・対話的な学びや行事などを通して、できた、わかったなどの成功体験を積み、自尊感情を育てる。③家庭や地域と連携し、共に挨拶について考え、場に合った挨拶ができるようにする。④人権週間で、授業等を通して自他を大切にすることを育てる。
健やかな体	①1校1実践運動の体ほぐし運動を通して、全校で体力づくりに取り組む。年間を通じ、中休みや体育の授業を活用して行い継続的に取り組む。②一人ひとりに多くの運動経験をもたせたり、よりよい生活習慣を築いたりすることができるように、児童運動委員会や学校保健委員会を中心に活動に取り組む。
児童生徒指導	①いじめ防止に向け、児童情報や学校のきまり、個に応じた指導について共通理解し、指導にあたる。②一人ひとりが大事にされる学級づくりのために、計画的に「Y-Pアセスメントシート」を実施し児童の実態把握に努め、学級の課題に応じた社会的スキル横浜プログラムを実施する。
特別支援教育	①療育センターや子家相などの関係諸機関との連携を進め、実践的な支援・指導につなげる。②全校TTの意識を共通理解し、実態に合った指導、環境整備についての研修など多面的な支援体制の整備を行う。③特別支援教育の推進のために、個に応じた指導の形態を工夫する。
地域連携	①学校運営協議会で近隣校の情報を共有し、地域の教育力を生かしたり意見を反映したりしながら、学校を運営していく。②今の状況下にふさわしい方法で学校の様子や方針等を伝える機会をつくり、保護者や地域に教育活動への理解を深めてもらう。③ホームページの充実を図る。
	c7
	c8
いじめへの対応	①児童情報や学校のきまりを共通理解して指導にあたり、個に応じた指導についても共有する。②月1回の定期開催に加え必要に応じて直ちにいじめ防止対策委員会を開く。③いじめに関するアンケートを年2回行い、児童の様子や心情を把握したり教育相談を行ったりして解決に向けて力を尽くす。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①授業研究や教科分担を推進し、専門性を高めていく。②メンターチームを中心とした研修を通して協働的に指導力の向上を図る。③学校運営組織をより効果的なものにするため、連携・協力し、都度改善していくようにする。④グループウェアを効果的に使用する。